

家庭学習の手引き



東広島市立下黒瀬小学校

はじめに～家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう～

小学校の学習では、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その効果を何倍にも高めることができます。そのための一つが「家庭学習」です。

家庭学習には、次のような教育的効果が期待できます。

① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や漢字や計算などは、毎日くり返し練習することで定着していきます。

② 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、網日くり返し使うことで活発に働くようになるのです。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく伝えるようになります。

③ 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力となります。

④ がまん強さ・根気・集中力をつける

テレビやゲーム、スマートフォンなど、子ども達にとって楽しいことがお家にはたくさんあります。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲーム、スマートフォンの時間を決めて学習や読書などの時間をしっかりと確保したいです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族の方の協力が必要不可欠です。

⑤ 家族のふれあい

「音読をしているとき、横で聞いてあげる」「勉強が分からないとき、教えたりいっしょに調べたりしてあげる」など家庭学習をしている子どもたちにおうちの方が関わるによりコミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機械が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

家庭を「学び」の環境に

進んで学ぼうとする力は、子どもたちが安心できる場で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子どもたちは、認められ励まされることで「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を大きく育てていきましょう。

進んで学ぶ力アップ！

- ☆ 学習に集中できる環境を
生活リズムを整えて、決まった場所と時間で学習できるようにお願いします。
- ☆ 温かいふれあいを
頑張っていることを認め、励ます対話をお願いします。

おうちの方の協力

- ☆ 学習指導
基礎学力をつけ、学び方を教え、主体性を育てます。
- ☆ 家庭学習の提案
子ども達の発達段階に応じた、家庭学習の内容を考え、提案します。

学校の心がけ



家庭学習のポイント

- ① 決まった時間に決まった場所で毎日こつこつしましょう。
- ② テレビや音楽を消して、静かな環境で行いましょう。
- ③ 整頓された場所で、よい姿勢で学習しましょう。
- ④ 宿題が終わったら、自主学習にとりくみましょう。(高学年は、1 ページは必ずやります)
- ⑤ 規則正しい生活を整えましょう。「早寝、早起き、朝ごはん」を大切にしましょう。
- ⑥ 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。鉛筆をけずるのを忘れずに！

自主学習について

○ 自主学習の目的

- ① 自分の苦手なところを見つけて克服します。
- ② 自分の得意なところをみつけて、さらに力を伸ばします。
- ③ 自分で考えて学ぶ力、自分なりのまとめ方を工夫する力をつけます。

○ 自主学習の例

(国語)

- ・ 国語の教科書の意味調べ
- ・ 新しく習った漢字を使って、短文作り
- ・ 俳句作り・ことわざ調べ
- ・ 読書感想文
- ・ 新聞記事の小見出しと感想。
- ・ ローマ字日記。

どの教科でもできること

テストやプリントで間違えたところをもう一度ノートに解いてみる。

(算数)

- ・ 算数のノートをまとめ直す。
- ・ 算数で習ったことを生活の中のもので見つける
- ・ 算数の文章問題作り

(理科)

- ・ 理科の実験結果のまとめ
- ・ (タブレットも一緒に使って) NHK for school の理科の動画を見てわかったことをまとめる

(社会)

- ・ 社会の教科書、資料集、ノートのまとめ
- ・ 都道府県や県庁所在地を覚えなおす
- ・ ブリタニカ(タブレットにあります)を利用して調べ学習をする

○ 自主学習のルール

- ・ 数字は1マスに2文字以内
- ・ 漢字は1マスに1文字以内
- ・ ひらがな、かたかなは1マスに1文字。
- ・ 絵や図をかく時は、大きくなりすぎないようにする。▶ 1 ページを8つに分けた1つ分まで
- ・ 日付け、めあて、ふりかえりを必ず書く。

かていがくしゅうのてびき 1・2ねんせい

おべんきょうの やくそく

- ・^{じかん}時間をきめて まいにちかならずしましょう。
- ・テレビやゲームはけして、つくえの上を^{うえ}せいりしてはじめてみましょう。
- ・よいしせい、^{ただ}正しいえんぴつのもちかたでしましょう。
- ・1年生は、20分間 ^{ぶんかん}2年生は、30分間 ^{ぶんかん} しましょう。

おべんきょうのじゅんばん



がっこう 学校からのお手紙を おうちの人^{ひと}にわたす。



べんきょうどうぐをそろえて、べんきょうばしょにつく。



しゅくだいをする。



おうちの人^{ひと}におわったことをしらせる。



^{じかん}時間があれば、じしゅべんきょうをする。



あしたのじゅんぴをする。(じかんわり・えんぴつけずり)

正しいえんぴつのもちかたとしせい



- グー おなかとせなかにグー ひとつずつ
- ペタ あしはゆかにペタ
- ピン せすじはピン

こんなべんきょうも してみよう！（チャレンジ！じしゅべんきょう）

- きょうかしよを うつす（ししゃ）
- ^{えほん}絵本をよんで おもったことをかく
- さくぶんをかく
 - ・「～は」「～を」「～へ」を^{ただ}正しくつかう
 - ・ならった^じ字やカタカナをつかう
- かん字やことばのれんしゅうをする
 - ・ことばあつめ
 - ・カタカナ・かん^じ字のれんしゅう
- さんすうのおはなしもんだいをつくる
 - ・つくったらじぶんで といてみよう

おうちの方へ

- ・家庭学習は、生活時間に合わせて毎日続けることが大切です。
- ・やる気をのばすために、「できるようになったね」「がんばったね」など、頑張りを認め、励ましの声をかけてあげてください。
- ・間違いや雑なところは、もう一度やり直しをお願いします。
- ・音読カードと連絡帳にサインをお願いします。

家庭学習の手引き 3・4年生

学習の やくそく

- ・時間をきめて 毎日かならずしましょう。
- ・テレビやゲームは消して、つくえの上を整理してはじめましょう。おやつはそばにおきません。
- ・よいしせいで取り組みましょう。
- ・3年生は、40分間 4年生は、50分間 しましょう。

学習の手順



勉強道具をそろえて、勉強する場所につく。



宿題をする。

- ・音読やリコーダーの練習も忘れずに
- ・漢字ドリルや計算ドリルは、答え合わせと直しをする



宿題が終わったら、家族に知らせる。
(学校からの手紙もきちんとわたす。)



時間があれば、自主勉強をする。



明日のじゅんぴをする。(時間わり・えんぴつけずり)

えんぴつのもちかたと正しいしせい



- グー** おなかとせなかにグーひとつずつ
- ペタ** あしはゆかにペタ
- ピン** せすじはピン



こんな勉強も してみよう！(チャレンジ！自主勉強)

- 教科書をていねいにうつす(視写)
- 作文を書く
 - ・はじめ、中、終わりをいしきする。
 - ・原こう用紙のつかい方をまもる。
 - ・習った漢字はつかう。
- ローマ字の練習をする。
- 意味調べ(国語じてんをつかう)
- 算数の文しょうもんだいをつくってとく。
- テストやプリントのもんだいをもう一度とく。
- タブレットをつかった学習をする。
 - ・ブリタニカで調べ学習
 - ・NHK for school の動画を見てかんそうを書く

おうちの方へ

- ・家庭学習は、生活時間に合わせて毎日続けることが大切です。
- ・やる気をのばすために、「できるようになったね」「がんばったね」など、頑張りを認め、励ましの声をかけてあげてください。
- ・間違いや雑なところは、もう一度やり直しをお願いします。
- ・音読カードにサインをお願いします。
- ・ぜひ、家族で読書の時間をつくってみてください。

家庭学習の手引き 5・6年生

学習の 約束

- ・時間を決めて 毎日必ずしましょう。
- ・テレビ、音楽、ゲームは消して、机の上を整理して始めましょう。おやつはそばにおきません。
- ・よいしせいで取り組みましょう。
- ・5年生は、60分間 6年生は、70分間 しましょう。

学習の手順



勉強道具をそろえて、勉強する場所につく。



宿題をする。

- ・音読やリコーダーの練習も忘れずに
- ・漢字ドリルや計算ドリルは、答え合わせと直しをする



自主勉強をする。(答え合わせが必要なものは必ずする。)



宿題が終わったら、家族に知らせる。

(学校からの手紙を忘れずにわたすこと！)



明日の準備をする。(時間割・鉛筆けずり)

正しいしせい



グー

おなかとせなかに
グー ひとつずつ

ペタ

あしはゆかにペタ

ピン

せすじはピン

チャレンジ！自主勉強

- 読書をして感想を書く
- 言葉の学習をする
 - ・意味調べ(熟語、四字熟語など)
 - ・調べた言葉を使って文づくり
- 新聞の切り抜き→自分の考えをまとめる
- 作文を書く
 - ・事実と意見をわけて書く
 - ・習った漢字を使う
- テストやプリントをもう一度解く
- 社会科、理科の教科書を自分なりにまとめる
- タブレットで調べ学習
 - ・ブリタニカで調べ学習
 - ・NHK for school の動画を見て感想を書く
- アルファベットを練習する
- 自分で考えた勉強をする

おうちの方へ

- ・家庭学習は、生活時間に合わせて毎日続けることが大切です。
- ・やる気をのばすために、「できるようになったね」「がんばったね」など、頑張りを認め、励ましの声をかけてあげてください。
- ・ぜひ、家族で読書の時間をつくってみてください。

学習用具について

まいにち ふでばこ なかみ ととの
毎日、筆箱の中身を整理しましょう。学習道具がきちんとそろっていることも、学習準備の一つです。
がくしゅうどうぐ がくしゅうじゅんび

えんぴつ ほん
鉛筆5～6本

け ちようほうけい
消しゴム（長方形で白色。においのないよく消えるもの）

ものさし（とうめい めい
ものさし（とう明で目もりがはっきりしているもの）

したじき（とうめい
したじき（とう明）

あか あおえんぴつ
赤・青鉛筆

※5・6年生は、答え合わせやノートを書くときに、赤と青を使う量が多いため、ボールペンでも可とします。ただし、授業中の音を防ぐため、ノック式の赤青ボールペンは不可とします。また、複数の色やシャープペンと一緒にいるボールペンも学習には必要のないものが含まれているため不可とします。

※ なまえ がくしゅうようぐ お もの なか
※ 名前のない学習用具が落とし物の中に多くあります。必ず名前を書いてください。